

——以上議案審議終了して各種委員會報告に入る

（萬場一致承認）

委員長	田口革
印刷費	五〇、〇〇
謝禮接待費	四〇、〇〇
組織宣傳費	三二、〇〇
臨時費	一四〇、〇〇
雜費	五五、〇〇
徽章費	一〇〇、〇〇
人件費	一一〇、〇〇
積立金	五〇、〇〇
計	二、五五〇、〇〇

一、法規委員會報告

（原案承認）

法規委員は別室に於いて慎重に協議した結果、一、臨時者に會員資格附與を決定したる九月二十二日の第六回評議委員會の意志に基き、二、部内婦人從事員開拓の爲めに「本會規約第二條第三項を削除し、第六條に婦人部を挿入する」を決定した。

一、委員會報告

（萬場一致可決）

委員長 赤松克磨、梶原撫生、尾宮朝一、蛇原貞榮、關東同盟會理事、高地但喜、川田清、主事兼會計當清、齊藤勇吉、春日井秀雄、森本耕、小關執行委員、高地但喜、菊池善一、松澤保次郎、田井爲次、會計監督、田口董、安太郎、山崎勝司、安川省三、齋藤芳二、木下重平、杉山牧之助、黒間六郎

委員長 中里道之亮  
中里道之亮  
池田靜吉、玉井助助  
梶原貞榮、關東同盟會理事、高地但喜、川田清、

一、閉會の辭  
赤松會長役員を代表して、挨拶を述べ、引續き閉會の辭をのべて、全員總起立して團結の歌を合唱、會長の發聲にて萬歳を三唱して第七回大會を盛會裡に終了。

評議委員會記録

第一回評議委員會

昭和六年十二月二十日午後七時半より十時半迄、本部に

於て開催、出席五十七名

議長 赤松克磨

一般會務報告 高地

一、當主事名古屋地方に急遽出張の頃未、當分滞在の豫定

二、第七回大會に關する報告（イ）大會費決算、會場費五

五四、印刷費（報告書、信任狀、候補券等）一一四四七七

錢、代議員旅費、八四五〇錢（合計二百五十九四三十六也

（ロ）其の他

三、大會決議事項の執行（イ）選信者に提出を要する事項

は曉願書（起草當主事一任）として、成り立大臣と正式

會見の上提出する事、右目取の打合は常任一任

常任は數回に涉つて本省と打合を進めたが結局今回の政

變となる（ロ）首切労働強化並待遇低下絶對反対の件、

は本年度中に於ける我等の重要な案件なるが故に特に豫算

削減反対闘争として全努力を集中して圖ひ、詳細は豫算

は現業三分、準現業五分、非現業一割に喰止め、特別會

計は、内閣、大藏省、運信省關係官吏を以つて調査會を設

置となる。（ハ）電話擴張工事繰延反対、遞信從業員の政

治的自由抑壓反対公益性を無視する郵便事業統少反対の

三件は關東同盟大會に提出、可決さる（ニ）十一月一日地

方支部代表赤井、齊名兩君と共に當主事、高地、山崎兩執

行委員は選信者を訪問し地方支部の運動に關し、意見を